

## 会員のグループによる自主企画助成 募集要項

日本社会教育学会では、昨年度から、「会員のグループによる自主企画助成（以下、会員自主企画助成）」制度を開始しました。「会員自主企画助成」は、3人以上の会員によって構成されるグループが、開かれた研究交流の促進と、学会の研究活動の一層の活性化を目的として自主企画（シンポジウム、研究会、ワークショップなどの学習・研究活動）を行う際に、学会として助成を行うものです。これにより、多様な会員に開かれた研究交流の場を組織し、学会全体の研究活動が活性化することを目指しています。締め切りは2023年6月3日（土曜日）です。奮ってご応募ください。

本制度による助成を希望する会員は、募集要項に基づき、申請書を学会事務局（[jssace.office@gmail.com](mailto:jssace.office@gmail.com)）まで電子メールに添付ファイルで提出してください。

○目的：会員相互の研究交流の促進と学会における研究活動の活性化。

○内容：①自主企画（シンポジウム、研究会、ワークショップなど学会員にひらかれた学習・研究活動）を研究大会・六月集会以外の時期に1回実施する（必ず学会メールニュース等にて会員に周知する。オンライン開催も可）、②自主企画の実施内容について助成を受けた翌年刊行の『社会教育学研究』にて報告する。

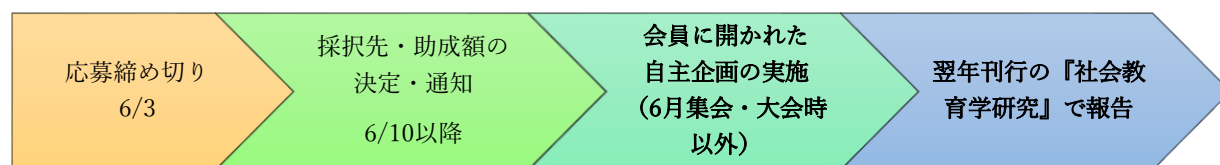


図 自主企画助成のスケジュール

○助成金額：1件あたり10万円を上限とする申請方式

※予算案を踏まえて支出額を決定するため、応募時に予算案を提出してください。なお、支出可能な費目は、会場賃借料、交通費・宿泊料（グループメンバー分含む）、謝礼金（非会員の場合）、消耗品（記録作成経費含む）などです。※各グループには、企画実施後に会計報告を提出していただきます。

○応募資格：3人以上の会員によって構成されるグループ

※なお、応募多数の場合は、予算枠（年間20万円）上限として採択を行います。その際は、①年齢の若い人、②正規雇用職にない人、③学会加入年数の短い人の順に人数の多いグループを優先します。

※多様な会員に開かれた研究交流を促進するという主旨を踏まえ、所属機関、職業、性別、エスニシティなどに多様性のあるグループ構成となることを期待します。申請書に、「グループメンバーの特徴」として、この点に関する説明を付してもらいます。

○応募締め切り：6月3日（必着）とする。採用予定者を6月10日の全国理事会で決定後、公表する。

○申請書：別添

○本件に関するお問い合わせ先：学会事務局 [jssace.office@gmail.com](mailto:jssace.office@gmail.com) ※申請書の提出後3日過ぎても担当者より受領の連絡がない場合は、すぐに事務局にお問い合わせください。

参考資料：

表 2022 年度の実績

企画名	日時	開催場所・方法
ユースセンターに関する記録資料を用いたデータセッション	2023 年 1 月 21 日 (土) 16:00~19:30	東京大学本郷キャンパス (福武ホール) ※対面開催のみ。
「移動」の時代における地域社会教育の展望と課題—長野県泰阜村での共同調査を通して—	2023 年 2 月 18 日 (土) 13:30~16:00	ハイブリッド形式 (九州大学伊都キャンパスと Zoom オンライン)

詳細は、[若手会員支援 - 日本社会教育学会 \(jssace.jp\)](https://www.jssace.jp)をご覧ください。